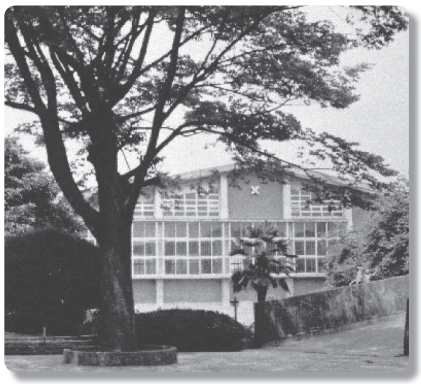
慶應志木会会報

慶應志木会（慶應義塾志木高等学校同窓会）

2011 ● vol. 31



時間を忘れた、
旧友とのひとき。

慶應志木会の皆様へ

慶應義塾志木高等学校 校長　下村　裕

慶應志木会報第31号のご刊行、おめでとうございます。慶應志木会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、この度の東日本大震災により、被災された皆様、そして現在も通常の生活に戻れないすべての方々にお見舞い申し上げます。

東北地方太平洋沖地震が発生した3月11日、志木会の皆様は大丈夫だったでしょうか？　本校では、地震が発生した時、多くの生徒がクラブ活動等により在校しておりました。その内、交通機関が不通となり帰宅できなくなった約150名の生徒が学校にそのまま宿泊いたしましたが、教職員による不眠不休の対応と生徒各自の協力によって翌日は全員無事に帰宅できました。幸い、本校の生徒や教職員がこの度の震災によって直接被災した報告は受けておりません。その後、余震発生、計画停電実施、節電要請、等の状況下、本校では、生徒の安全確保のために学校行事やクラブ活動等に対して特別な措置をとりました。

また、この度の大震災により、2年生の研修旅行で本校が毎年お世話になっている南三陸町を含む宮城県は特に甚大な被害を受けました。その地域に特化した義援金の募金活動を生徒会が行い、学校としても支援することになりました。3月末の卒業式、生徒の登校日、5月末のPTA総会、等にて、生徒会役員が募金活動をした結果、多額の義援金が集まりました。3月末の卒業式後には志木会からもご芳志を賜り、この場を借りて御礼申し上げます。

慶應義塾では、「福澤先生ウェーランド経済書講述記念日」からも想起されるように、どんな状況でも学問を絶やさない、という努力を続けなければなりません。生徒諸君には、今回の大震災の影響が残る今こそ、災害、原子力発電、エネルギー問題、政治・経済、国際問題、等について、正確な情報を入手し、深く考える機会にすべきである、と伝えました。

さて、会報第30号にてお知らせいたしました「憩いの広場（仮称）」が、埼玉県からのご支援もいただき、予定通り昨年度末に竣工いたしました。生徒が休憩時間にベンチで語り合う、放課後に戯れる、あるいは特別な機会にバーベキュー等を楽しむ、等に利用できる、普通教室棟南側に設置された芝生の広場です。本当に生徒が憩える広場となるよう、今後時間をかけて利用の仕方や必要な用具等について検討する予定です。志木会の皆様も、ご来校の折は、この広場にぜひお立ち寄りください。

末筆ながら、鹿野会長を初めとする志木会の皆様に、日頃のご支援を心より御礼申し上げます。そして、志木会の更なる発展をお祈りいたします。

志木高教員の動向

退職
- 専任　**山崎　勇 君**（定年退職：社会科 S46.4～H23.3）　**他3名**（人事交流含む）
- 講師　**6名**

新任
- 専任　**原　浩史 君**（社会科）
- 講師　**橋本 陽介 君**（国語科：51期）　**他7名**（カウンセラー含む）

訃報
- **山田 忠雄 君**　元社会科・国語科教諭　H23年1月1日 逝去
- **小林 和良 君**　現国語科教諭　H23年3月14日 逝去
- **水野 善文 君**　元美術科教諭　H23年5月20日 逝去

ごあいさつ

慶應志木会 会長　**鹿野元章**

梅雨の晴れ間の太陽がまぶしい今日この頃、志木会会員の皆様には如何お過ごしでしょうか。今年3月11日には未曽有の東日本大震災が発生し、多くの人命が失われたことに対し心からご冥福をお祈り申し上げます。また、会員のなかにも直接、間接の影響は広範囲に及んでおりますことを残念なことと存じ一日も早い復興を願っております。

そのような非常事態の中で大学の卒業式も中止となりましたが、志木高等学校では例年通り3月24日に卒業式が挙行されました。式の終了後志木会のためにお時間を頂き、卒業生の志木会入会歓迎、志木会志木会賞の授与、卒業40年の21期生よりの寄付金贈呈を行わせていただきました。

昨年には第二回目となる奨学金を学校を通じて3名の生徒さんに授与して頂きました。これも志木会各位のお力の賜物と厚く御礼申し上げます。

今後志木会の活動を一層活発にしてまいりたく、5年に一度の会費納入のご協力を改めてお願い申し上げます。まだの方は本会報とともに振込み票をお送りいたしましたのでよろしくご高配下されば幸いに存じます。

末筆ながら会員各位のご健勝とご多幸をお祈り申し上げご挨拶とさせて頂きます。

「志木会奨学金」の募集は続きます

会員各位のご協力によりスタートいたしました「慶應志木会奨学基金」が平成21年秋から生徒への給費を開始いたしました。ご協力をいただきました皆様に感謝申し上げます。

しかしながら、現在の基金額は運用益を確保し、安定した給費を継続できる十分な額とは言えません。長期的に安定した給費の継続と給費対象者・給費額の拡大を図るために、志木会では寄付金の募集を継続しておりますので、是非ともご協力を賜わりたく、心からお願い申し上げます。

なお、「慶應志木会奨学基金」に使途を指定した寄付となるため、使途指定をした寄付申込書が必要になります。寄付に対する減免措置については従前どおり慶應義塾基金室から領収書並びに所得税、法人税の寄付金控除証明書が送付されます。

寄付をご希望の方や詳細についてお知りになりたい方は志木会事務局までお問合せ下さい。

TEL 048-471-1959　メール info@keio-shikikai.jp

【募金要綱】

慶應志木会奨学基金

1. 募金単位　　1口一万円
2. 払込方法　　下記口座へ振り込みください。なお、申込書の記載が必要になりますので志木会事務局までご連絡をお願いします。

振込先口座一覧

- 三井住友銀行　新座志木支店　普通　6891296
- 三菱東京UFJ銀行　新座志木支店　普通　1983046
- 埼玉りそな銀行　志木支店　普通　4145297
- ゆうちょ銀行　郵便局から振り込む場合　10340-38162591
- 他の銀行から振り込む場合　〇三八店　普通　3816259

口座名義はいづれも　慶應志木会奨学基金 鹿野元章（ケイオウシキカイショウガクキキン シカノモトアキ）

志木高・志木会行事日程

	慶應志木会				志木高等学校	
	23年度予定		22年度実績		23年度予定	
4月	4/23	枇杷の会 震災の為6月に変更	4/24	枇杷の会 （野川公園）	4/6 4/21	入学式 定期健康診断
5月	5/14 5/16	志木高自然観察会 幹事総会	5/15 5/18	志木高自然観察会 幹事総会	5/10･11 5/16～18	クラスマッチ 1年総合学習研修旅行 （箱根）
6月		会報発行	6/5	JKカップ 会報発行	6/20～24	第1回　定期試験
7月	7/2 7/23	枇杷の会 （小石川植物園） JKカップ	7/17	枇杷の会 （王子駅～飛鳥山公園 ～名主の滝公園）	7/15 7/19～	第110回志木演説会 夏季休業
8月						
9月	9/17	志木高自然観察会	9/18	志木高自然観察会	～9/2	夏季休業 運動会
10月	10/29	枇杷の会 ホームカミングデー （36期&11期）	10/2 10/30	歩こう会 （港区東部の史跡巡り） ホームカミングデー （35期&10期）	 10/9（10） ～13（14） 10/29･30	2年研修旅行（中部地方） 3年見学旅行（九州） 収穫祭
11月	11/12	テニス大会 （志木高）	11/13	テニス大会 （志木高）	11/5 11/14～18	学校説明会 第2回　定期試験
12月			12/4	枇杷の会 （都立桜ヶ丘公園）	 12/16 12/21～	マラソン大会 第111回志木演説会 冬季休業
1月					～1/6	冬季休業 自己推薦入試 第3回 定期試験（3年）
2月		枇杷の会	2/24	幹事新年会		一般・帰国入試 第3回定期試験 （1･2年）
3月	3/24（土）	卒業式 卒業40年（22期）	3/24（木）	卒業式 卒業40年（21期）	3/24	卒業式

＊志木高校内自然観察会は宮橋教諭（理科）を中心に近隣者を対象に開催されます（卒業生 10 名程度参加可能）

●志木会大会 1 年間延期のお知らせ

平成 24 年は 5 年に一度の志木会大会の年ですが、慶應義塾 5 高等学校が合同で開催する同窓会にあわせ、1 年延期することになりました。これは、前回の志木会大会（平成 19 年）開催時に、大会にあわせて合同同窓会を 1 年遅らせてもらった経緯があり、今回は慶應志木会側が開催時期を譲ったものです。

「慶應志木会賞」

慶應志木会賞は、クラブおよびその他の活動において、特に功績のあった団体または個人の業績を称え、もって学校生活の向上に資することを目的として平成19年3月の卒業式に初めて贈呈されました。体育、文化、一般の3部門において教員からの推薦をもとに選考委員会で決定いたします。本年で5回目を迎えます。

本年度は、端艇部、ワグネル・ソサィエティー男声合唱団の2グループが受賞され、3月24日の卒業式のあとの「志木会セレモニー」で鹿野会長から賞状楯と記念品が渡されました。

1．器楽部　3年生22名

「吹奏楽コンクール　埼玉県大会」　金賞
「吹奏楽コンクール　西関東大会」　金賞
「第10回東日本学校吹奏楽大会」　金賞
「第16回日本管楽合奏コンテスト」　最優秀賞

これらの功績により慶應義塾の「塾長賞」を受賞

「塾長賞」を受賞されている器楽部に志木会から賞を贈呈する事は僭越ではありますが、「生徒諸君の励みになります」という下村校長の助言もいただき贈呈いたしました。

2．ワグネル・ソサィエティー男声合唱団　3年生6名　（2年連続）

「埼玉県合唱コンクール」高等学校の部　金賞　文化団体連合賞（3位）
「関東合唱コンクール」高等学校の部　銀賞
「埼玉県ヴォーカルアンサンブルコンテスト」高等学校の部　金賞（66団体中4位）

本年卒業の端艇部　吉原大輔君は昨年（2年時）、インターハイ入賞、国体出場など功績により、志木会賞を受賞しております。

體育會NOW 第11回

空手同好会　部長　長谷川 泰史

空手同好会は2008年4月に正式に発足しました。元々は岩田君、安田君（2004年3月卒業）らが空手を習いたくて大学空手部の日吉道場に通ったのが始まりだと記憶しております。その流れを木川君（2005年卒業）、中谷君と津久井君（2007年卒業）の代が受け継ぎ、青沼君（2009年卒業）が主将の時に同好会として認可されました。それ以前にも認可申請を行ったのですが、諸条件が整わず認められませんでした。

同好会設立後は活動場所を志木に移し、監督に体育会空手部OBの神保二郎氏が就任し、また私が部長となりました。以降、江本君（2010年卒業）、藤原君（2011年卒業）が主将を引継ぎ、現在の黒須主将へと至っています。また、木川君と中谷君は大学空手部でも主将を務めるほどに実力を伸ばしました。同好会認可後の2008年以降は埼玉県内の関東大会予選、インターハイ予選、新人戦といった念願の公式大会への参加も実現しました。後輩達には公式大会出場の夢が叶わなかった先代達の想いに、いつか上位入賞という形で応えて欲しいと思っています。志木に活動場所を移してからは専用の道場がない為、同好会的な活動の域を出ませんが、去来舎トレーニングルームでの活動と柔道場を借りての稽古と、少ない日数でも集中した稽古に取り組んでいます。大学体育会空手部および私が責任を持って指導しております。

文化部会NOW 第11回

囲碁将棋部　部長　大塚　彰

囲碁将棋部は、県大会で上位に入賞した選手や、県大会で優勝し全国大会で活躍した選手を多く輩出している伝統あるクラブです。現在は、3年生8名、2年生2名、1年生1名、計11名で活動しています。

将棋では、年4回行われる県大会（5月「高校将棋選手権」、6月「高校竜王戦」、9月「高校王位戦」、11月「高校王将戦」）と年2回行われる「関東高校将棋リーグ戦」（8月、1月）に参加しています。今年度の「高校将棋選手権・団体戦」では「慶應志木高校A」が4回戦に進出し、大会準優勝の「川越高校A」に敗れましたが、県ベスト16に入りました。

囲碁の大会に出場している部員は2名で、1チーム3名で出場する団体戦には参加できませんが、両名とも有段者であり、少数精鋭で活動しています。現在2年生の竹田和正君は、昨年11月の「関東高校囲碁選手権埼玉県大会・個人戦」で優勝し、今年1月に山梨県で行われた「関東高校囲碁選手権大会」に埼玉県代表として出場するなど、各種大会で上位に入る活躍をしています。

初心者で入部した部員も、大会に参加して実戦を経験することが大きな刺激になり、熱心に練習対局に励むようになっていきます。活動日には各部員が楽しくそして真剣に囲碁・将棋に取り組み、棋力を向上させています。

文化部会NOW 第11回

ワグネル・ソサィエティー男声合唱団　第３代責任者　山浦元気（61期）

去る４月26日（火）、慶應志木ワグネル・ソサィエティー男声合唱団第３回定期演奏会を開催致しました。クラブとしては、創立間もない若い団体ですが、志木高のかつての音楽部OBの皆様や志木会の皆様に多数お越しいただき、幅広い年齢層のお客様にご来場賜りました。また、先の未曾有の大震災の影響も少なく見受けられるほどに、多数のお客様がいらして下さいました。

演奏会の内容と致しましては、今回はオペラステージを試みました。プロのソリスト、ピアニストの先生方と高校生のエネルギッシュな合唱団が、舞台上でオペラのワンシーンを演出しました。先生にご助言をいただきながら、生徒たちは演出方法をいかに面白く魅せるか、考え抜きました。本番でも先生方と一体になりながら、お客様に楽しんでいただけたのではないかと思っております。アンコールには昨今の状況を踏まえ、宮城県民謡の斎太郎節という曲を演奏致しました。力強い男声合唱の響きが、客席だけでなく遠い東北にも届くようにと、応援の思いをこめて歌いました。

最後になりますが、こうした日本の危機的状況の中で、演奏会を開催することが出来たのは志木会の皆様をはじめ、多くのご支援を頂いたおかげでございます。団員一同心より御礼申し上げます。また、どうかこれからもワグネルを応援、ご指導宜しくお願いいたします。

「後藤邦吉元教諭が旭日単光章を受章」

～叙勲に寄せて～

◎主な経歴　※スポーツ・体育関係　　後藤邦吉（護徒稚）

昭和34年　第14回国民体育大会秋季東京大会埼玉県選手団旗手
（県立高校の新任教師が指名される）陸上競技の国体選手
陸上競技協会の強化コーチに任命される
昭和35年　第15回国民体育大会秋季熊本大会　教員走り高跳び6位入賞
昭和36年　埼玉県スキー連盟トレーナーに任命される
（慶應義塾志木高校に奉職）
昭和41年　第21回国民体育大会冬季スキー競技会
教員大回転競技選手
30回大会・3位、31回大会・5位、32回大会・7位
昭和43年　第23回国民体育大会冬季スキー競技会埼玉選手団監督
（43年～57年）
昭和45年　埼玉県高等学校体育連盟スキー専門部委員長
（45年～平成10年）
昭和55年　全日本スキー連盟競技本部アルペン委員（55年～59年）
昭和58年　第38回国民体育大会冬季スキー競技会・大会本部役員
昭和60年　埼玉県スキー連盟理事長（4期）
昭和63年　第43回国民体育大会冬季スキー競技会埼玉県選手団総監督
（63年・64年）
平成11年　埼玉県スキー連盟副会長（11年～22年）
平成18年　第61回国民体育大会冬季スキー競技会埼玉県選手団副団長
（18年・19年）

◎表彰経歴

昭和56年　埼玉県体育協会　埼玉県体育功労者表彰
昭和58年　志木市　志木市社会体育功労者表彰
平成３年　埼玉県スキー連盟　特別功労者表彰
平成８年　埼玉県高等学校体育連盟　功労感謝状
平成14年　慶應義塾体育会　体育功労者表彰
平成17年　全日本スキー連盟　功労者表彰
平成18年　埼玉県スキー連盟　功労者表彰
平成19年　日本体育協会　国民体育大会功労者表彰
平成19年　埼玉県教育委員会　社会教育功労者表彰
平成22年　志木市　社会教育特別功労感謝状
平成22年　秋の叙勲　「旭日単光章」「スポーツ振興功労」

◎海外留学等経歴

昭和42年　ソ連スパルタキアード視察・日本招待視察団員
モスクワでのスポーツ祭典、キエフ、レーニングラード（サンクペテルブルグ）
昭和45年　世界青年平和友好祭日本青年団団長・ラトビア共和国リガ市
リガでの友好際、ノブゴロド、レーニングラード、モスクワ、ハバロフスク
昭和48年　フランス・オーストリア国立スキー学校短期留学
慶應義塾小泉基金（1ドル360円時代・全額支給される）

おめでとうございます。
平成22年11月の叙勲で、スポーツ振興により
後藤邦吉元教諭（体育）が旭日単光章を受章されました。

クラブ成績

クラブ	成　績
體育會	
硬式野球部	H22夏選手県大会 2回戦 対栄東8-3 3回戦 対所沢西0-1　秋季地区予選 1回戦 対西武台12-0　代表決定戦 対武南1-0　県大会 2回戦 対上尾7-6 3回戦 対富士見4-3 準々決勝 対鷲宮1-3 ｊベスト8　選抜21世紀枠埼玉県推薦　H23春季地区予選 1回戦 対大宮7-3　代表決定戦 対新座柳瀬2-1　県大会 1回戦 対東農大三高8-1 2回戦 対狭山ヶ丘3-5 ｊベスト32
競走部	61回全国高校駅伝競走大会埼玉県大会 2時間28分10秒 県38位　78回埼玉県駅伝競走大会 2時間22分01秒 県30位
卓球部	新人大会 男子団体 西部地区大会 2回戦敗退　関東大会兼インターハイ予選 男子団体 西部地区大会 ベスト8　関東大会予選 男子団体 埼玉県大会 ベスト32
蹴球部	新人戦 県大会 5位　関東大会予選 ベスト8　全国大会予選 ベスト8
庭球部	H23関東高校テニス大会埼玉予選（個人）シングルス1回戦 山本 加藤 堀江 ダブルス 2回戦 藤崎・加藤 団体戦 1回戦 対小松原高校3-0 2回戦 対伊奈学園2-1 3回戦 対独協高1-2 ベスト16　H22 埼玉県テニス新人大会（個人）シングルス 2回戦 山本 加藤 1回戦 藤崎 伊藤 ダブルス 1回戦 加藤・堀江 団体戦 1回戦 対西武台5-0 2回戦 対栄東4-1 3回戦 対早稲田本庄0-4 ベスト16
端艇部	59回お花見レガッタ 舵手付きクオドルプル FinalB 5位　79回慶早レガッタ 高校舵手付きクオドルプルB 準優勝　インターハイ埼玉県予選 舵手付きクオドルプル 5位　H22埼玉県高校新人戦 舵手付きクオドルプル 4位 関東進出 ダブルスカル4位 関東進出 シングルスカル 6位 関東高等学校選抜ボート大会 舵手付クオドルプル出場 ダブルスカル出場
柔道部	関東高等学校柔道大会埼玉県予選出場　全国高校総体柔道大会埼玉県予選（インターハイ予選）出場　慶早高校対抗柔道戦 3年神崎・小林・福島出場 6-4（2引き分け）で慶應勝利
バレー部	H23 西部地区大会 志木対城北埼玉・川越工業（合同チーム）2-0 志木対西武文理（0-2）代表決定戦 志木対狭山経済（0-2）
ホッケー部	インターハイ兼関東大会 埼玉県1次予選会3位 同2次予選会3位　高校ホッケー新人大会兼団体予選会3位（第24回東日本ホッケー大会SPRING TROPHY 大震災により中止）
サッカー部	新人戦 西部支部決勝トーナメント2-0 入間向陽、0-1 西部文理 インターハイ西部支部予選 3-1 坂戸西、0-2 大井
バスケットボール部	H23 新人戦県大会出場 H23 吉敷 西部支部代表選手として四地区大会出場
弓術部	H22全慶早高等学校弓道大会2位 夏季西部地区大会4位（団体）水落6位 津久井10位（個人）第48回本塾高等学校戦勝利（79-76）　H22県新人戦 優勝　H22東日本大会 決勝トーナメント進出 ベスト16　H23関東大会県予選6位（Cチーム）関東大会進出
ゴルフ部	H22関東高等学校ゴルフ選手権大会埼玉県大会出場（個人・団体戦）　H22埼玉県高等学校ゴルフ連盟研修競技会出場　H22慶早戦出場　H22関東高等学校ゴルフ選手権秋季大会埼玉県大会出場
剣道部	インターハイ予選（団体）1回戦 対所沢西3-2　第52回五大学付属剣道大会 第5位 予選リーグ 対法政3-3（代表戦敗）対法政第二1-4 対立教池袋6-1 対立教新座3-4 対慶應湘南藤沢6-0 5・6位決定戦 対明大中野2-1　埼玉県私学大会 予選リーグ 対山村国際2-1 対城北埼玉3-1 決勝トーナメント 対秀明英光1-1（本数敗）浦和高校定期戦 慶應義塾高校との合同チーム 抜き勝負 対浦和高校（勝）　慶早高校対抗剣道試合 抜き勝負 対早稲田本庄（勝）　新人大会西部地区予選 2回戦敗退 1回戦 対細田学園2-0（勝）2回戦 対坂戸西2-2（本数敗）　埼玉県新人大会 二回戦敗退 1回戦 対武蔵越生2-0（勝）2回戦 対松山高校1-3（敗）　埼玉県剣道大会（団体）三回戦敗退 1回戦 対武蔵越生2-1（勝）2回戦 対熊谷工業2-1（勝）3回戦 対松山高校4-0（敗）
スキー部	インターハイ県予選 星野 GS DF SL 46位 団体予選 埼玉県選手権 星野 GS 34位 星野 SL DF
ソフトテニス部	六大学大会 個人ベスト32
水泳部	私学大会 200mメドレーリレー クラウス・井上・脇本・小野9位 200mリレー 山本・クラウス・小野・脇本12位 スプリント大会 200mメドレーリレー 脇本・井上・神原・小野20位 団体予選 200mメドレーリレー クラウス・井上・脇本・小野13位 200mリレー クラウス・井上・小野・脇本20位 200m背泳ぎ クラウス19位 100m平泳ぎ 濵田25位 新人大会 400mメドレーリレー クラウス・中井・神原・棚川19位 200mリレー 中井・クラウス・棚川・田久保23位 100m背泳ぎ クラウス18位 200m バタフライ 神原19位
軟式野球部	第55回全国高等学校軟式野球選手権 埼玉大会 ベスト4
空手同好会	関東大会埼玉県予選会出場　インターハイ埼玉県予選会出場　第32回松涛館流空手道拳心会大会 形の部3位（個人）
文化部会	
器楽部	志木会賞受賞
ワグネル・ソサィエティー・オーケストラ	志木会賞受賞

――会費納入のお願い――

慶應志木会　会長　鹿野　元章

慶應志木会の皆様には益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、平成20年4月より第5期がスタートし、今後の活動と発展のために会費納入のお願いをしておりますが、平成23年5月末現在、3年間で納入率12パーセントと極めて低調な状況となっております。

志木会費は発足時より5年毎に年会費2千円×5年分＝1万円をお願いしております。

厳しい経済情勢ではありますが、このままでは慶應志木会の運営に大きな支障がでることが予想されますので、何卒ご協力賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

会費未納の方には振込用紙のついた宛名用紙でお送りさせていただいております。この振込用紙をご使用の上、お近くの郵便局または銀行よりご送金下さいますようお願い申し上げます。また、下記の口座を指定いただけば銀行からも振込みが出来ます。

なお、すでに納入いただいている方には振込用紙は付いておりません。

（納入状況につきましては平成23年5月末日のデータを基にしております）

記

振込金額　10,000円（平成20年～24年の５年分）
取扱機関　郵便局（同封の振込用紙を使用した場合）
　口座記号・番号　東京　00170-6-537748
　口座名義　慶應志木会（ケイオウシキカイ）
　銀行から振り込む場合
　銀行名　ゆうちょ銀行　支店名　〇一九支店
　口座種別　当座　口座番号　0537748
　口座名義　慶應志木会（ケイオウシキカイ）
払込期日　早期振込にご協力下さい

＜問合せ先＞　志木会事務局　TEL048-471-1959（志木高内）
E-mail　info@keio-shikikai.jp

＜参考資料＞

残高推移予想　（単位千円）

	H23	H24	H25
現在残高	13,673		次会費徴収
残高		8,073	
必要金額	5,600	6,300	
差引	8,073	1,773	

※会費の納入が無いとH25年以降、会の活動に支障が出る

必要金額の主なもの（単位千円）

• 会報費用	2,500
• 寄付金（収穫祭・卒業式）	600
• 入学・卒業記念品	500
• 会議・事務費用	1,000
• その他	1,000

H24は総会準備のための支出有

同期会 &OB会だより

2期　第１期生　岸田英作　先輩の思い出

昭和22年春の甲子園で行われた選抜野球大会に群馬県立桐生中学校が北関東の代表に選ばれて、中学４年生の岸田先輩は二塁手で出場しました。当時の桐生は野球が強く、選抜では２度決勝まで駒を進めています。21年に入学した１年の私は、戦前のプロ経験者の投球を受けるバッティング捕手をやらされて、先輩にこき使われた上に、よく叱られたものです。

また、昭和９年春の選抜で決勝まで進んだ時のメンバーが中心となり「オール桐生」チームが結成されました。このチームは母校の後輩を指導しながら、昭和21年に戦後初、後楽園球場で行なわれた都市対抗野球に出場して決勝まで進み、岐阜と対戦して3-0で準優勝しました。こうした環境の中で岸田先輩の出場した甲子園では、桐生中学は勝ち進んで、準決勝まで行きましたが、この年優勝した小倉中に敗退しました。

この大会の活躍が評価された先輩は守備と打撃部門で二つの賞を得ています。他の活躍した選手も、それぞれ受賞しました。そして翌年は、六大学に進学しました。早稲田（捕手 遊撃手）２名　明治（投手）１名　立教（一塁手）１名の４名で慶應を目指した先輩は、残念ながら希望が叶わず、翌年も失敗して開校２年目の志木高の２年生となりました。

当時も現在も慶應は、入試に関しては厳しい大学で、甲子園で活躍して名を挙げた有名選手が過去に何人も悔やんでいます。憧れの大学に進学して、野球部に入部し神宮球場での活躍を夢見て練習に励んで居りましたが急遽、卒業後は家業を継ぐことになり野球を断念しました。桐生での家業は書籍文具を手広く商い、とりわけ書籍は学校の教科書を一手に扱っているので３～４月は多忙だそうです。

家業についてからは、商工会議所の役員として、市内商業の活性化と発展に尽力し。更に会頭に推挙れて活躍されましたが、平成15年３月21日に病で亡くなりました。享年75歳　数々の功績に対して国から勲章を授与されました。そして多勢の後輩と市民の方に惜しまれました。

今回は志木会報の執筆の機会を得たので先輩の紹介をしました。

２期　河邊勝利

4期　「福の会」について

昭和29年に卒業した日吉高、女子高（三田）、志木高（当時は農業高校）の同期生が、旧交をあたためる場として結成された同期会です。名称の由来は「29→フク」ということから「福の会」と称して毎年12月に総会（最近は第１土曜日に実施）を開いています。会の運営にあたり幹事会があり、総会は別に実行委員会（毎年クラスごとに交代で人選する。）を組織し毎年テーマを決めて準備に入ります。

今年は12月3日（土）の開催になりますが、４～５年前頃から参加者が増えて来ています。増加の要因は全員が後期高齢者（ほとんどが仕事から離れた）になり、総会の開催時間も日中に行うことと併せて会費も安くしたこともあり200名前後が参加しています。

会はそれぞれのおしゃべりに重点をおいていますが、実行委員会が企画したイベントを行うことで、わずかな時間ですがみんな楽しく過ごしています。「福の会」を通して３高校が仲良く交流を重ねており、最近は足腰の具合が悪くなり回数も減少傾向ですが「歩く会」も毎回40名前後が参加しています。志木高第４期は、この「福の会」総会後翌年１～２月頃に美味しいものを食べようと「ふぐの会」を開いております。

４期　藤岡民良

8期　拝啓　慶應義塾志木高等学校第８期生　殿

私たちの入学時は農業高等学校、卒業時は志木高等学校というまことに節目の時代の生徒でした。都会にはない緑豊な５万坪の武蔵野台地に春夏秋冬を過ごし、週一日の農業実習は「土に親しむ」との穏やかな表現ではなく、寒風吹きすさぶ冬、十二鍬を使っての開墾作業は手のひらの血豆が破れ、軍手に血が滲んでも歯を食いしばって頑張った忍耐力の強さは、私たちの誇りであり財産になっています。

第８期の幹事を仰せつかっている品川、磯部、大須賀、青木の怠慢から皆さんと顔を合わせる機会を作れず、只時間が経過してきたことをお詫びいたします。

齢70歳を超え、何となく人のことを懐かしく思えてくる頃、私たち幹事は「八期会」を開催すべく努力をいたします。その際は兎に角駆けつけて下さい。

最後にお願いがあります。「志木会」は会費制で運営されています。年額２千円で５年分１万円を一括納入していただいております。私たち「８期生」の平成20年から24年の５年分の会費納入実績は、在籍者84名のうち納入済み者23名、納入率27％と他期生と比較してさびしい限りです。お手元に届いた会報に、未納の方には振込用紙が同封されていますので早急にお手配下さるようお願いいたします。８期のプライドにかけて実行してください。紙上を借りてお願いいたします。

では皆様にお目にかかれる日を楽しみにしております。

8期　品川宗弘・磯部和宏・大須賀均・青木宏至

11期　遊志会

11期「遊志会」は、平成22年度も①築地市場見学会（7月22日）、②東京スカイツリー見学会（9月27日）、③第79回ゴルフコンペ（11月15日）、④平成22年度総会（本年4月7日）の各イベントを開催しました。特に、「築地市場見学会」では、早朝のマグロのセリの勇ましさや、活気にあふれた場内の様子に参加者一同感激した後、市場近くにある「慶應義塾発祥の地」の石碑を訪問。福澤先生の功績に思いをいたしました。また、本年4月7日に開催した「平成22年度総会」では、恩師の高山元教諭・斎藤元教諭をお迎えし、出席者がお互いに旧交を温めるなど和やかな雰囲気の会となりました。

平成23年度も新幹事のもと、ゴルフコンペ、ミュージックフェスティバル等の恒例イベントに加え、好評につき2度目の開催となる「鎌倉散策の会」を始め、趣向を凝らしたイベントを開催し、会員相互の親睦をさらに深めていきたいと思います。

11期　馬渕祥宏

13期　「四木会」は“暫亭”で毎月開催致します！

昨年の会報でも紹介致しましたが、我ら13期は今年も毎月同期会を開催しています。その間20年近く一度も会場を変更することなく続ける事が出来ました。切っ掛けは、1992年塾卒業25周年を記念しての「卒業式ご招待イベント」に対する寄付活動キックオフの場と成ったことでした。何時から月例に成ったのか記憶は定かではありませんが、誰ともなく、もっと頻繁に会いたいね！との声から、『四木会』は誕生したのです。毎月第四木曜と決めて「四木会（しき会→よんもく会）」と命名し完全に定着致しました。

この定例会場が六本木にある『貴奈』です。同期の山田益弘さんがオーナーです。同店のHPを開いてみると、『創業以来38年にわたり、多くのお客様の「語らいのオアシス」として今日まで…』と閉店の挨拶が載っていました。本当なんです、6月の20日で閉店する事になってしまったのです。1月頃にその話を聞かされ本当に途方に暮れたものです。毎回予約をすることもなく、人数を連絡する事もなく、来れる人が集まる中で、何時でもゆったりしたスペースを提供して頂き、正に我々の為の空間だったからです。当然ながら貴奈に代わる場所など現れません。あまりにも恵まれた空間だったからです。

6月は閉店直前の16日（第三木曜）に開催致しました。お世話になった山田夫妻及び従業員の皆様に謝辞を贈るイベントを計画致しました。卒業以来の仲間

達を繋げ逢わせてくれた“架け橋”“橋渡し”が貴奈、そこに掛けて“箸”を贈らせて頂きました。

7月からは、やはり同期の田島正昭さんのお店（暫亭・木挽町店）で四木会は開催致します。貴奈とは異なったおもてなしで我々を歓待してくれます。

13期　千葉宗雄

昨年最も多く参加した月（20101124）

暫亭のアクセス

15期　第32回亦楽会

私共が32歳のころに産声を上げた亦楽会は、同年数の32歳（回）を迎えました。

その第32回の亦楽会が、平成22年11月19日（金）三田キャンパス「ファカルティクラブ」於いてメンバー

44名が集い、盛大にとり行なわれました。

應援指導部の振りで「塾歌」の斉唱で始まり、残念ながら人生半ばで亡くなった仲間18名に対して黙祷をささげました。会場には、現旧志木高の写真の掲載や我々の高校生活を撮った志木高の懐かしい映像が流れ、雰囲気を盛り上げました。また、應援指導部のチアリーダによる可憐なパフォーマンスと亦楽会へのエールを受け、メンバーは一段と熱く燃え上がり楽しい同期会となりました。さらには、後藤元教諭からご自身の叙勲のアナウンスがあり、参加者一同、祝い喜びました。

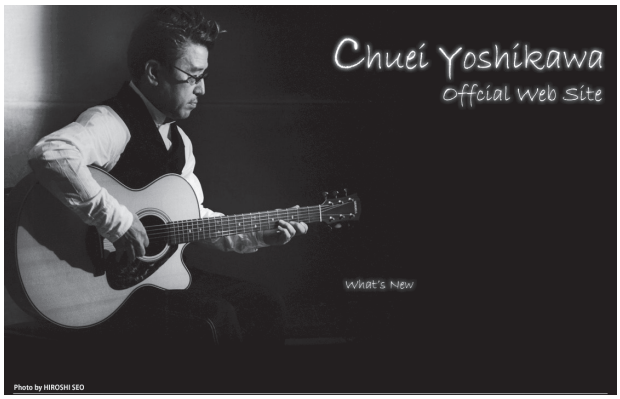
最後に、幹事会からの報告（第32回亦楽会の会計収支、年会費の導入決議）があり、会を滞りなく終えました。なお、次回クラス幹事は、A組；阿波君、B組；中村君、C組；秋山君、D組；鈴木君、E組；桜井君です。

15期　大平善彦

15期　東京文化会館ポピュラーウィーク2011 コンサート鑑賞記

昨年に続きクラシック音楽の殿堂、東京文化会館小ホールに同期で日本のアコースティックギタリストの頂点に立つ吉川忠英君＜http://chuei-yoshikawa.com/＞が出演すると聞き、2月19日（土）に女房と行って参りました。昨年はギターとチェロのデュオを聴かせてくれましたが、今回はモンゴルのホーミー（のど歌）の二人組タルバガンをゲストに迎え『ポピュラーウィーク2011 New Wave Acoustics Ⅱ～野の夢～』と題されたコンサートでした。心に残った曲は志木高時代からの親友だった故片桐君など早世したギターが大好きだった仲間を偲んで作った「Hey, Mr. Guitar Man！」とホーミー・サウンドたっぷりの「草原の音」でした。小ホールと言っても定員653名の大きな会場でしたが、ほぼ満員の盛況で吉川君らしい心と身体が癒されるEasy Listening一杯の大満足の夜でした。吉川君はアコースティックギターの第一人者として、中島みゆき・松任谷由実・福山雅治・夏川りみ・加山雄三・Chageなど、ニューミュージック系のアーティストを中心に数多くのレコーディングやコンサートに参加し、米Martin社とYAHAMAより「Chuei Model」ギターも発売されているそうです。尚、今年3月に発売されたニューアルバム「AIRY FACE」には「草原の音」が、「AQUA FACE」には「Hey, Mr. Guitar Man！」が収録されております。ご希望の方はナユタ・レコーズ＜http://www.nauta. jp/＞のウェブサイトより購入すること可能です。

15期　倉田伸二



16期　志世会

私達の同期会である「志世会」の年度定例会が9月11日（土）に一ツ橋の「喜山倶楽部」で開催され、30余名の同期生が和やかに旧交を温めました。私達の期は社会の第一線から退く方が増えており、今回も地方に赴任していたため志世会に初めて出席という方が、数十年振りの皆との再会に感激した由の挨拶をしておりました。来年の再会を約して散会後、有志15名は神保町の名門喫茶店「さぼうる」での二次会へ移り、今流行の角ハイボールで更に盛り上がりました。（志世会開催日は9月第2土曜日に固定されており、今年は9月10日ですので、皆さん予定表に記入願います。）

毎月第4木曜日に開催される「月例志世会」（万世本店地下1F「呉越同舟」で開催の飲み会。18時～20時）は毎回7～12名程度の出席者があり、行事としてすっかり定着しました。最近では固定メンバーのほか、日程に合せて海外・地方から出張し参加する友もおり毎回、期待と驚きに満ちた会合となっております。予約不要、飛入り参加大歓迎ですので、気軽に寄り道をして飲みにお越し下さい。

第4回志世会ゴルフコンペは9月10日（金）にアスレ

チックゴルフ倶楽部で3組12名によって開催され、上野清氏夫人が優勝しました。前日の台風通過によって連続猛暑日が途絶え、最高のコンディションでのプレーとなったようです。尚、今後の開催日は月次志木会メールマガジンの同期会便り欄で随時ご案内しております。

同期諸氏、今年も極力日程調整して、それぞれの行事でお互い元気な顔を見せようではありませんか。

16期　近藤隆夫

17期　《39会》便り

17期全体の会は、「のびdeメイト」と称し、卒業40周年には60数名の参加を誇り、毎回の総会にも積極的な期だと自負しています。

それというのも我が17期には、須永泰司君という万年名幹事役がいて、志木会の総会を始め慶應の集まりには素晴らしいネットワークを構築してくれていたからですが、残念ながら一昨年急逝され、いつも持ち歩いてくれていた名簿やアルバムほかの貴重な資料も失われてしまいました。

個別には旧寮生（我々の期が最大勢力でした）や体育会各部など幾つかのグループがありますが、その中では、現在、川鍋二朗君、野村真君などを中心に入学年に因んだ《志木校39会》の活動が盛んなのでご紹介します。39会の常連としては、この二君のほか、冨士滋美君、前嶋晶廣君、西村寛君、斉藤洋君、河原孝太郎君、ニ島建夫君、村井純一君、小生（北村基樹）が居り、都合がつけば、立原雅夫君、四津良平君、檜山温君、正木恒一郎君、得能健二君、永池秀一君、御手洗康美君などが加わり、浅草観光協会長の冨士君のお世話による「浅草食べ歩きの会」などの食事会、夫人同伴の「川鍋邸BBQパーティー」、「野村邸蟹パーティー」やゴルフ、観劇、コンサートなど折に触れ集まっては40数年前に戻ってワイワイガヤガヤやっています。奥方連は「子供みたいだ」と半ばあきれながら（多分）温かい目で付き合ってくれています。

還暦も過ぎ、自由時間が増えてきましたので、気の置けない仲間との時間を大事にして行きたいと思っています。参加ご希望の同期諸君は一度ご連絡ください。ひょっとしたら選考試験があるかも知れませんが…（笑）

PS　学年幹事として一言：同期の皆さん、志木会費の納入もお忘れなく！

17期　北村基樹

20期　20期同期会便り

毎年恒例になっております同期会を2月16日に六本木で開催しました。同期29名と昨年秋の叙勲で旭日単光賞」を受章されました後藤元教諭が出席され楽しいひと時を過ごしました。

後藤元教諭からは志木高時代から受章までの話や健康法毎日の生活など多方面にわたる話がありました。また健康法のひとつである歌も2曲披露されました。

今年は多くの人が還暦を迎える年ということもあり11月5日～6日に静岡県焼津で同期会を開催します。

ゴルフなども予定しておりますのでたくさんの方の参加をお待ちしております。幹事は田中純一君、江原康彦君です。

20期　金子　博志

26期　26期だより

26期は2010年1月22日（金）同期清水君（ブッチャー）が経営する「青山ティーファクトリー」にて同期会を端艇部OB石崎君、今井君、後藤君、八木君らを幹事役として敢行し、盛会でありました。

次回は同じく「青山ティーファクトリー」（TEL03-3408-8939）にて競走部OB山田（和）君、上野君、米持君らが幹事役となり、7月9日（金）午後7時から行いますので同期の皆様奮ってご参加下さい。

またこの4月同期の善木達明君（三越）がアメリカ、オーランドへ、中川龍士君（三菱商事）がエジプト、カイロにヘッドとして栄転赴任されました。

あと26期は現在本年の連合三田会大会の幹事年として大会の総務本部長として山崎君、経理部会長として澤田君、記念品部会長として善木君（海外転勤のため田中君が代理）、接待部会長として山田（純）が役員の任命を受けているほか、多くの同期が実行委員に名を連ねて大会（10月24日）に向け活動しております。

まだ実行委員への登録をお済ませになっておられない方は2010年慶應連合三田会大会のホームページhttp://www.2010mitakai.jp/から実行委員登録をお願いできればと思います。

26期　山田純男

27期　渡邊安雄君　結婚祝いの会

去る5月20日（金）夜、銀座某所にて、ソッカー部出

身の渡邊安雄君と（とってもお若い!!）直子さんとの結婚祝いの会が開かれた。志木高卒業以来、約35年ぶりになる再会もあり、当時とまったく変わらない（？）、若者の会話で大いに盛り上がった！　志木高の仲間は、すばらしい!!

出席者は15名。

（新郎）渡邊安雄、（新婦）渡邊直子、安西治、大場啓史、神山洋一、鬼頭真一郎、木村政紀、高橋健三郎、藤田玲、増田聡、山地昇、山路敏之、吉森桂男、金森悟、（塾高から特別参加：荻島隆）

27期　金森　悟

28期　28期同期会報告

昨年に引き続き幹事・伊能重雄氏のご尽力によ、23年5月27日19時～銀座BRBにて28期同期会が開催されました。

当日は30名の出席で盛会となり 卒業以来再会する同期生もおり、楽しく、大変有意義なひとときでした。

今回、ご出席頂いた方々、また、残念ながらお会いできなかった方々も、次回の同期会でお会いできます事を楽しみにしております。

現在28期のメーリングリストには93名の登録を頂いておりますが、まだ28期全体の37%にすぎません。今後のイベントのお知らせの為にも是非、志木会事務局（info@keio-shikikai.jp）気付け、28期大舘宛にメールアドレスをお知らせください。

同期の方の消息、情報をご存じの方、また、皆様の近況報告等もお寄せ下さい。

28期　大舘　信

サッカー部「慶應志木高校サッカー部創部50周年」のお知らせ

慶應志木高校サッカー部OB各位

慶應志木高校サッカー部が、創部50周年を迎えました。慶應志木高校サッカー部OB会（通称：野火止サッカー倶楽部）は、本年12月11日（日）に「サッカー部創部50周年記念総会＆式典」を計画しています。50周年の今年、1月2日の「初蹴り会」から始まり、3月5日埼玉ゴルフクラブで「OB会ゴルフコンペ」を開催しました。本年最後のイベントとして「創部50周年記念式典」を、渡部元教諭はじめ今までお世話になった教諭の方々を来賓に迎え、多くのOBの方々にご参集いただき懇親の場を設けたいと存じます。

OB会は現役選手諸君の強化を目的に資金面から支援していきたいと考えています。50周年記念事業の一環として今年からフィールドコーチ、キーパーコーチ、フィジカルコーチの派遣費用の一部負担を父母会とともに実施して参ります。施設面も仮設テントの寄付を実施しました。これからも継続的に志木高校サッカー部支援強化を進めていきたいと考えています。これらの資金はOB会年会費で賄っておりますが、現役選手諸君を支援するにはやや寂しい財政状態であります。OB会は現在500名を超える志木高校では有数のOB会組織となっています。OBの皆様の1人1人のご厚意が、現役選手諸君の底上げを図ることで志木高校サッカー部強化につながります。OBの皆様方におかれましては、「創部50周年記念式典」へのご参加と、年会費（¥5,000／年）払込にご協力賜わりますようお願い申し上げます。

払込先：三菱東京UFJ銀行 日本橋支店
普通口座：4990956
口座名義人：野火止サッカー倶楽部 会長 高木清彦
※尚、振込名の頭に卒業年次を西暦でご記入願います。
本件に関する問い合わせ先
S45年卒 幹事長 折登泰樹 orito@pca.co.jp、
S48年卒 会計幹事 井上久 inokyuuu1125@yahoo.co.jp、
S53年卒 事務局長 八木充 m_yagi@1983.jukuin.keio.ac.jp

野火止サッカー倶楽部 会長　高木清彦

慶應義塾志木高等学校
ワグネル・ソサィエティー男声合唱団

【慶應義塾志木高等学校ワグネル・ソサィエティー男声合唱団（以下志木ワグネル）設立の経緯】

志木ワグネルの前身である合唱団体「Going Bananas」は，平成17年7月に塚本聡（志木会第57期）他，数名のメンバーによって結成されました。その後，Going Bananasの卒団者であり慶應義塾ワグネル・ソサィエティー男声合唱団（以下ワグネル）136代の加藤諒（第58期）と，133代責任者の長堀友亮（第55期）

が相談し「ワグネルの名称を当団に授けたい」というお話になりました。そして20年11月の生徒総会で同好会として認可されたことを機に，ワグネル三田会及びワグネルの先代部長山田多門教授（現在の部長は志木高ご出身の塩沢教授です）了承のもと「慶應義塾志木高等学校ワグネル・ソサィエティー男声合唱団」という名称を頂きました。

【慶應志木ワグネルOB会（以下OB会）設立の経緯】

22年4月に，鴻田益孝及び坂本照夫（共に第11期），長堀友亮，加藤諒の4名を発起人とし，「現役団員の活動を支援し，同団の繁栄に寄与する」「現役団員及び会員相互の交流により親睦を深める」事を目的として慶應志木ワグネルOB会設立準備会を作り活動を始めました。そして2011年4月の志木ワグネルの第3回定期演奏会の際に行われたOB会設立総会にて，50数名の会員で正式に会として発足いたしました。

会員は「志木ワグネルOB」「『Going Bananas』卒団者」「志木高OBでワグネルを卒団ないし在籍中の方」「志木高音楽部に在籍されていた方」で，会員資格者は約250名にも及びます。今後も志木ワグネル支援の輪を広げるため，会員登録を呼びかけていきます。

【22年度活動実績】

①第3回定期演奏会及び合唱コンクールへの支援（広報活動，運営面における大学ワグネルのノウハウ伝授，ステージ手伝い，活動の資金援助）※23年3月に川口リリアホールにて第4回定期演奏会が行われます。ぜひともお出で下さい。
②演奏会での合同演奏（収穫祭，ワグネルスプリングコンサートへの合同出演）
③現役部員に対する技術支援，進路相談
④年に約4回のOB会メールマガジンの発行
⑤年1回の総会

2011年年度は①～⑤の活動を継続し，新たに10月～12月にOB会主催のオムニバス・コンサートの開催と，志木ワグネルのHP作成に合わせOB会のHPの作成も行う予定であります。

【更なる活動支援に向けて】

志木ワグネルが「ワグネル」の名を冠してから，もうすぐ3年になります。顧問の吉川教諭とヴォイストレーナーの関先生のご指導のもと，コンクールでの活躍，志木会賞2回の受賞，数々のすばらしい演奏会を開いてきた志木ワグネルの歴史に，今年は15人の1年生が名を列ねることとなりました。私達OB会は，ワグネル三田会のご協力と共に志木ワグネルを温かく見守り精一杯盛り立てていく所存ですので，今後とも応援の程よろしくお願いいたします。

※慶應志木ワグネルOB会へのお問い合わせは
shiki.wagner.OB@gmail.comまでご一報ください。

若井康之

蹴球部活動報告

●2007年全国大会予選 準々決勝 対 熊谷工業3：24 敗戦 ベスト8
●2008年全国大会予選 準々決勝 対 正智深谷（埼工大深谷）35：31 勝利、準決勝 対 深谷高校7：52 敗戦 ベスト4
●2009年関東大会出場26期中川さん以来33年ぶりの出場快挙、全国大会予選 準々決勝 対 進修館（行田工）45：0勝利、準決勝対 深谷高校5：34 敗戦 ベスト4
●2010年全国大会予選 準々決勝 対 浦和高校3：7 敗戦 ベスト4
●2011年関東大会出場2年ぶりの出場

我々が現役の時は朝霞高校、和光高校とよく初戦で当たり、敗戦。ベスト16位が実力でした。熊谷工業、行田工業とは100点ゲーム、花園出場を目標としながらも、誰も行けるとは思ってもいませんでした。それが、今、ベスト4の常連。熊谷・進修館の力が落ち、正智深谷・深谷・浦和の次につけています。その要因の一つは、1987年部長として日川高校・筑波大学で活躍された竹井教諭（当時26歳）の赴任が大きいです。地道な指導がやっと実を結んで来ました。二つ目に、グランドも野球部の外野から、今は300Mトラックに移設され、ウエィト場も最新の機材を取り入れ、鍛える環境が整ってきました。トレーナーとも契約し、競合校の身体能力の数値を比較しながら体作りをしています。実績と重なるように生徒の関心も高まり、部員も50人を超えてきました。真剣に花園を狙おう。しかし、50人を超える部員の指導一つをとっても、今までの指導体制の限度を超えています。競合校との試合も増え、遠征費用等の負担も増えて来ました。そこで、OB会（楽志会）が昨年から変化してきました。1、現役強化体制の確立。2、ラグビー経験者の人材確保／リクルートの仕組み作り。3、会費徴収強化。 毎月1回の定例会を実施。監督・コーチ陣の指導方法・生徒一人ひとりの強化ポイントを共有。更に、多くのOB・父兄・生徒に関心を持って頂ける様、ホームページを4月にスタートしました。http://www.keioshikirugby.com/ まだまだ運営上の課題もあり、十分なものではありませんが、着実に進化しています。

蹴球部は変わりました。竹井部長と楽志会がともに、我々の悲願である花園出場に向かって歩みだしました。花園でうまい酒を飲もう、を合言葉に…。蹴球部への諸先輩方の応援、宜しくお願い致します。

私の簡単な自己紹介をさせて下さい。・体育会蹴球部に在籍しながら、学生コーチとして大学3年から2年間、津野監督（12期、2008年ご逝去）に仕える。・㈱伊勢丹にて6年間、社会人リーグ4部から1部リーグに上がるまでプレー。・32歳から5年間、志木高蹴球部監督。・5年前45歳の時にプルデンシャル生命保険にライフプランナーとして転職。・現在、楽志会副理事。

29期幹事兼蹴球部クラブ幹事　鳥羽克治

収穫祭のお知らせ

皆さんこんにちは！　平成23年度収穫祭実行委員長の高谷圭祐と申します。収穫祭実行委員会の活動は本格的に始まってきており、最初の仕事であるテーマ決めを先日行いました。今年のテーマは「Infinifty」です。

InfiniftyはInfinity（無限）とNifty（かっこいい、おしゃれな）を合わせた造語です。直訳すると「無限にかっこよく」というこのテーマには「現状維持に満足せず、妥協をせず、常に工夫できるところを模索しながら最高の収穫祭をつくりあげよう」という我々実行委員の思いが込もっています。

また決してその思いが自己満足に傾かないように、だれのために収穫祭をつくるのかという点を実行委員一同いつも意識していかなければならないと考えております。それは収穫祭に足を運んでくださる来場者の方々、収穫祭の伝統を築いてこられたOBの方々、共に我々の代の収穫祭をつくりあげる志木高生たちのためです。

このように、様々なつながりで収穫祭はできているのだということを想いながら今年の志木高生らしいものを全校生徒でつくりあげて収穫祭の伝統をつないでまいりたいと思います。

素晴らしい実行委員のメンバーと共にこれから志木高生が一年で最も熱くなる二日間にむかって努力してまいりますので、今年も収穫祭の応援よろしくお願い致します。是非楽しみにしていてください！

本年の収穫祭は、10月29日（土）・30日（日）に実施されます。

詳しくは志木高等学校ウェブサイトか、志木会メールマガジンを御覧下さい。

生徒会　収穫祭実行委員長　高谷圭祐

ホームカミングデーのお知らせ

志木会36期（昭和42年4月～43年3月生まれ）の諸君！

生徒会長は有馬、収穫祭実行委員長は秋山の代ですよ。ご無沙汰しております、ゴルフ部だった天野です。一昨年より縁あって、同窓会の幹事を務めております。

気が付けば、志木高を卒業して、今年で25年。

思い起こせば、濃い緑に囲まれた校舎で笑いあい、ふざけ合い、時には真剣に意見を戦わせて、僕達はあの頃たしかに同じ青春時代を過ごしました。部活動を通じて味わった充足感や悔しさも、試験前だけ？　必死に頑張った勉強も、学校周辺の「いろいろな場所」での遊びも、やんちゃをして先生に叱られた気まずさも、僕達だけが共有した（先輩や後輩の代とはきっと違う）雰囲気があり、独特の価値観があったように思います。時代が変わり、環境も立場も変わりましたが、でも何か「変わらないもの」を大切にしたい。そんな気持ちがこのところ強くなった気がします。今秋の10月29日（土）、収穫祭の日に「ホームカミングデー」として卒業二十五周年を迎えた僕達36期が招待されます。

「いつでも遊びに行ける」と思いながらもなかなか足を運べなかった志木高に、久しぶりに訪れるいい機会なので、是非集まって、懐かしい顔に再会したいと思っております。36期の皆さん、収穫祭で会いましょう！

※　同期の掲示板をウェブ上に立ち上げました。御覧になりたい方は、info@choujyuan.co.jp（天野宛）へご連絡ください。URLとパスワードをお知らせいたします。　36期　天野徳雄

卒業40年にあたり卒業式に参列

21期　内山　洋一

3月11日東日本は歴史に残る大震災に見舞われました。大津波の被害、そしてその後の原発事故による混乱は、「ひょっとして日本はもう立ち直れないかもしれない」と思ってしまうほどのものだったことはご承知のとおりです。

そんな中でちょうど卒業式シーズンを迎えた各地の学校では、卒業式を自粛する動きがあり、実際に多くの学校が卒業式を延期したり、中止したりしました。私は「志木高はどうするのだろう？　卒業式やるのかな？」ととても気になりました。なぜなら今年、私たち21期生は卒業40年で志木高の卒業式にお招きいただいていたからです。幸い予定どおり3月24日に卒業式は挙行され、21期生39人は母校の卒業式に40年ぶりに参列することができたのです。式次第は震災直後ということで、被災された方々への黙祷があったり、例年ひとりひとりに渡される卒業証書が代表者に渡され式の時間の短縮が図られたりと、変更になりましたが、参列者全員にとって忘れられない卒業式になったことと思います。

それにしても卒業生の賢そうなこと！　危機的なこの国を復活させていけるであろう頼もしい存在に見受けられました。ご父兄の皆さんも私たちよりお若い方ばかりで、自分たちの年齢を改めて思い知らされたようでした。しかしはるか遠い昔のことになってしまったはずの高校生活は昔の仲間と共に昔の校舎に居ると不思議とありありと思い出されます。現在の志木高の校舎も体育館も年季がはいっていますが、私たちの入学した年に落成したもので、校舎をみることも自分たちの歴史をみるようで感慨深いものがありました。式の最中、私は体育館の床に、壁に、天井に、舞台に……、過ぎ去った青春の日々への思いを重ねておりました。塾歌を斉唱しながら、私は学校に恵まれ、教員に恵まれ、友人に恵まれ、本当に良かったと心から思える時を過ごすことが出来ました。そして志木高に入学させてくれた両親に改めて感謝しました。

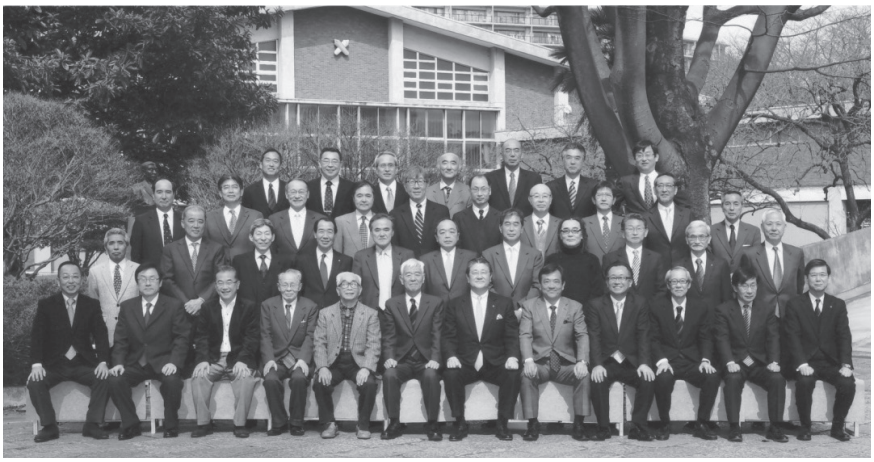
さて卒業式終了後、会場を移し学校設営の会場で私たち志木高OBと学校関係者の懇親会が行われました。退職された教員も交え、鹿野会長始め志木会の役員の方々、懐かしいメンバーと種々話に花が咲き、楽しい一時を過ごさせていただきました。数学の龍田元教諭、漢文の篠田元教諭、英語の斉藤元教諭等と再会し、とても懐かしく、私たちはかつての悪童達に戻って元教諭方に甘えた一時でした。肩を組み、若き血を精一杯歌っているとここでもまるで昔に戻ったような気がしました。

懇親会終了後正門の横で集合写真を撮っていただき、その写真は学校のご厚意によりご郵送いただき私たちOBにとって大変素晴らしい記念になりました。

その後、21期のメンバーとOBの教諭、体育の後藤元教諭も駆けつけてくださり、ベルセゾン志木にて再度懇親会を実施し、さらに旧交を温めました。

慶應志木高の仲間たちは全員が莫逆の友と言ったら少し大げさかもしれません。しかし今までも、またこれからも素晴らしい仲間であることは間違いないことであり、それは私たちの財産と言ってもよいものだと思います。また私たち21期生がそれぞれに社会で活躍し続けている原点には、志木高があることを皆感じていることと思います。志木高はこれからも多くの卒業生を輩出されることと思いますが、卒業生の皆々がきっと私たちのように思うに違いないことを確信いたします。

最後に学校のますますご発展を祈念すると共に、当日私たちに頂いたご厚情に心より感謝いたします。素晴らしい時間をありがとうございました。



平成22年度　卒業後40年招待　第21期生　慶應義塾志木高等学校　2011年3月24日

平成22年度慶應志木会 収支報告書（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

単位：円

収入		支出	
適要	金額	摘要	金額
前期繰越金	13,379,400	会報費	2,087,400
		会議費	515,204
維持会費	3,212,000	式典費	120,000
新入会費	1,390,000	交際費	104,003
物販収入	185,300	通信費	24,820
幹事会会費	171,000	振込費用	5,405
預金利息	1,730	残高証明書発行手数料	1,100
		事務費	352,170
		パソコン関連費	184,904
		収穫祭寄付	300,000
		ホームカミングデー費用	83,475
		テニス大会費用	46,617
		卒業式寄付	300,000
		卒業生記念品・志木会賞	491,400
		東日本大震災義援金	50,000
収入小計	4,960,030	支出小計	4,666,498
		次期繰越金	13,672,932
合計	18,339,430	合計	18,339,430

預金残高明細（3月末現在）

（銀行）	（種別）	（適用）	（管理）	（残高金額）
りそな	普通	一般	増山	2,456,937
埼玉りそな	普通	入会金	増山	2,653,767
郵便局	振替	会費口	増山	7,976,000
郵便局	振替	名簿代	増山	0
三井住友	普通	小口	金森	366,156
埼玉りそな	普通	小口	竹内	220,072
りそな	普通	寄付	増山	0
合計				13,672,932

監査報告

慶應志木会会則第18条に基づき、平成22年度（平成22年4月1日～平成23年3月31日）の会計監査を実施いたしました。

その結果、会計処理につきましては適正に処理されていることを此処に承認します。

平成23年4月27日
監事　千葉　宗雄
監事　原田　薫

慶應志木会　役員・幹事・クラブ幹事

■役員■

名誉会長　下村　　裕（校長）
会　　長　鹿野　元章（16期）
副 会 長　河野　文彦（主事）
　　増山治一郎（17期）　財務担当
　　金子　博志（20期）　情報管理担当
　　中村　弘司（23期）　事業担当
　　山﨑　嘉正（26期）　総務担当
監　　事　千葉　宗雄（13期）
　　原田　　薫（15期）
幹 事 長　阪東　宗文（16期）
事務局長　山﨑　嘉正（26期）
幹　　事
事務局幹事　金子　康雄（22期）　会報担当
　　小川　　洋（25期）　事業企画担当
　　山田　純男（26期）　総務担当
　　金森　　悟（27期）　財務担当
　　大舘　　信（28期）　事務局長補佐
　　相田　英文（29期）　幹事長補佐
　　大澤　宏樹（35期）　企画担当
　　天野　徳雄（36期）　財務担当
　　岩崎　　弾（48期）　企画担当
　　大久保佐太郎（55期）　総務・会報担当
顧　　問　櫻井英太郎(1期)　大谷熙(1期)　龍野和久(1期)
　　宮田勝(5期)　多田毅(7期)　五老輝彦(9期)
　　品川雅貴(12期)　本橋重夫(15期)　西村孝一(17期)

期	幹　事					
1	藤井　　淳	松本　仙太郎				
2	遠山　　正秀	惣滑谷　岱司	河邉　　勝利			
3	品川　　仁	岩崎　　勝利	菅野　　光男			
4	藤岡　　民良	高橋　　公郎	伊藤　金次郎	三浦　　靖夫		
5	寺嶋　　延行	小林　　石三	藤井　　洵			
6	真野　　信裕	松本　福太朗	茂木　　光義			
7	熊崎　順次郎	鈴木　　正治	渡辺　　正			
8	青木　　宏至	品川　　宗弘	大須賀　　均	磯部　　和宏		
9	南部　　達雄	前田　　克巳	佐々木　弘暢			
10	馬場　　紘二	斉藤　　彰	細井　　延昭	吉川　　忠裕	佐伯　　功	
11	馬渕　　祥宏	鴻田　　益孝	森原　　孝夫	菅谷　　正樹		
12	太刀川　俊男	川久保　達也	岡田　幸次郎	原田　　雄介		
13	清水　　武寿	椎野　開八郎	吉田　鋼一郎	山本　　雄一		
14	小林　　好二	築山　　正俊				
15	小笠原　準一	倉田　　伸二	深瀬　　啓司			
16	川端　　清治	工藤　　親彦	近藤　　隆夫	橋本　　幸男	野口　　信一	
17	荘　　敬典	北村　　基樹	前嶋　　晶廣	野村　　真	中村　　康二	
18	伊藤　　博行	黒田　　豊	徳永　　良			
19	中西　　廣策	星野　恭一郎	村上　　功治	三浦　　秀男		
20	中　　一弥	杉　　雅俊				
21	飯島　　敏一	福地　　敏之	内山　　洋一	折登　　泰樹		
22	櫻井　　造雄	三木　　哲郎				
23	夏目　　雅	梅澤　　由起	森田　　榮一	三義　　英一		
24	赤木　　均	島影　　幸有	田沼　　潔	京本　　修		
25	高橋　　宣行	島田　　徹				
26	船山　　剛	小池　　雅澄	善木　　達明	澤田　　尚史	中川　　龍士	荻原　　弘幸
27	鬼頭　真一郎	永井　　利宗				
28	大舘　　信	望月　　一	渕岡　　繁			
29	大熊　　伸治	鳥羽　　克治	清重　　利昌			
30	岸田　　一男	原田　　仁敦	佐藤　　正人			
31	荻田　　健之	福島　　聡	布施　　浩之	梶原　　靖友	内匠屋　　健	
32	町野　　素久	横江　　資友	梅田　　幸彦	鈴木　　厚		
33	小玉　　裕	河野　　潔				
34	大内　　正博	山下　　孝	古長　玄一郎			
35	須佐美　文忠	昌谷　　健司	宇野　　宏			
36	笛木　　儀久	天野　　徳雄				
37	鍋島　　康友	永田　　博詳	植島　　博之			
38	知久　　康成	中里　　栄基	金子　　隆則			
39	丸山　　和紀	田中　　浩樹				
40	井上　　晴生	税所　　篤史				
41	柏木　　徹	三田　　貴良				
42	安　　重煥	小島　　圭	御山　　義明			
43	藪原　　一暁	高松　　智之				
44	宮田　　真詩					
45	若松　　洋雄	小山　　一	小川　　圭			
46	谷口　　剛					
47	小寺　　俊且	谷　　嘉康	森　　茂之	西本　　祥仁	濱岡　　勇介	小林　　圭
48	亀山　　雄高	黒川　　真行	寺西　　富広			
49	石川　　快	廣江　　安彦				
50	髙岡　　功	徳田　　征之	小林　　敬英	齋藤　　収		
51	石井　　強太	森川　　渉	浅岡　　良彦	治田　　和明		
52	毛呂　淳一朗	渡邉　慶太郎				
53	森岡　　多門	林　　憲				
54	塚本　　大夢	中川　　雅之				
55	池端　　俊太	小泉　　貴史				
56	大久保　匠馬	若林　　隆晃	横澤　　慶太			
57	和田　　亮	時田　亜希夫				
58	宮山　　明	佐藤　　友紀				
59	箱﨑　　勇人	本多　　清礼				
60	岡田　　哲哉	中込　　健太	工藤　　雄太			
61	井上　　裕紀	富澤　　直嗣				

■クラブ幹事■

テニス部　田中　真介（17期）
サッカー部　中村　直人（38期）
バスケット部　南雲　保秀（23期）
卓球部　浅生　　潤（23期）
バレー部　進藤　英典（23期）
スキー部　渡辺　一仁（51期）
野球部　小川　光二（17期）
ホッケー部　菅野　芳哉（29期）
枇杷の会　湯浅　善衛（31期）
ワグネル　山浦　元気（61期）
ワグネル　南　　琳太（61期）

山内ファーム（仮称）について

山内　幾郎　（美術科）

山内ファームでは生徒と一緒にサツマイモを育て収穫し、収穫祭で焼き芋や大学芋、サツマイモチップスにしてお客様に販売するという活動をここ数年続けております。

山内ファームという名称自体通称ですし、全くの有志団体であるために生徒の構成も不確定でありますが、毎年畑を耕す時、苗を植える時、草刈をする時、収穫をする時、そして収穫祭当日には不思議と必ず何人かの生徒が集まります。収穫祭ではお客様から好評をいただき毎年完売となります。今年は私が１年生の担任ということもあり、なかば強引にクラス活動の一環でやっております。

農業学校時代からの伝統を絶やさないためにとか、構内の自然環境を活かしたいとか、そういった崇高な理念の下活動を続けているわけではありません。ただ生徒達が収穫祭を企画する中で様々なオリジナリティーを模索する姿を見て、このようなあり方もあるのではないかという一つの提案として続けてきたように思います。

来年も続けていこうかと思ってはおりますが、そろそろ教員の方々からも理解、協力してくださる方が現れてくれるとありがたいと思っておりますが皆さんお忙しい上、私の力不足もあり世の中の農業従事者同様後継者不足で悩んでおります。

山内ファーム（仮称）で農作業に励む生徒

農業高校時代の農作業の様子

編　集　後　記

莞爾と笑う皆さんの――まるで志木高生に戻ったかのような写真がなんと多いことか。会報編輯中に非常に強く感じたことの一つです。これが今号の表紙とキャプションに繋がりました。会報やメールマガジンを通じて、少しでも志木会会員のお役に立てれば、笑顔に繋がればと改めて思いを強くしました。

今号も最後までお読み頂きありがとう御座いました。

（さたらう）

慶應志木会会報　2011 ●Vol.31

平成23年７月15日発行

編集・発行　慶應志木会（慶應義塾志木高等学校同窓会）
〒353-0004　埼玉県志木市本町4-14-1

発　行　人　鹿野元章

印　　刷　(株)精興社

ウェブサイト　http://www.keio-shikikai.jp/

メ　ー　ル　info@keio-shikikai.jp